

令和3年度 基本方針(案)

1 事務局体制等の整備強化

(1) 県センターとしての機能強化

- ア 運営基盤の整備に努め、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画の理念に基づく様々な事業に対して、積極的に関与し指導者養成、スポーツ・レクリエーションの推進に努める。
- イ 日本協会の情報ネットワークシステムの活用を図り、事務の簡素化に努める。
- ウ 財政的に厳しい状況の中ではあるが、県民に対し県レク協会への理解を図り、公益事業と収益事業を明確にした運営を行う。
- エ 日本協会と連携を密にし、情報の収集、多方面の事業受託に努め、最新の情報や事業を加盟団体及び会員に提供する。
- オ スポーツ振興くじ toto、子どもゆめ基金等の助成金を活用し事業の拡充に努める。
- カ 指導者支援や新規有資格者確保のため、講習会や研修会を可能な限り広範囲で開催する。(コミュニケーション・ワークセミナー、レク式体力チェック講習会、幼児の運動あそび指導者講習会、各種スポ・レク講習会等)
- キ 貸出し用具の有料化を図り、その資金を元に充実したサービスの提供に努める。

(2) 専門委員会の活動充実

- 各委員会の活動の充実と自立を図ることをねらいに、委員会組織の拡充や委員会活動の具体案を検討・作成する。
- 新規委員会として健康クラブ推進連絡会を設置し、新潟県内の健康クラブの推進ならびに若手指導者の養成に寄与する。

2 新潟県スポーツ・レクリエーション大会の開催

一般市民を対象とした公益性の高い市民参加型事業を展開するため、各市町レク・種目協会と連携し全体計画はもとより、各加盟団体のスポーツ・レクリエーション活動にも工夫・改善を加えるよう実行委員会から提案する。

- ・第30回大会は、10月16日(土)・17日(日)に、新潟市で開催する。

3 指導者養成事業の開設

(1) スポーツ・レクリエーション指導者養成講座の開設

日本協会の指導者養成新カリキュラムに沿って、各加盟団体の協力を得てスポ・レクスクールを開講する。本年度は、スポーツ・レクリエーション指導者の養成も併せて開催し、指導者のサイクル化を図りたい。

4 スポーツ・レクリエーション普及振興事業の実施

(1) 他団体との連携・協力事業

- ア 全国一斉「あそびの日」キャンペーン事業
指定された期間に開催されるキャンペーンに、加盟団体から積極的な参加が得られるよう呼びかける。
- イ 子どもの体力向上推進事業
幼児の体力・運動能力向上に寄与する事業をゆめ基金や民間企業と連携して開催する。
柏崎市、湯沢町、丸山育英会との連携
- ウ 新潟県レクリエーション協会考案・開発「レク式体力チェック」の普及・推進
レク式体力チェックは、toto の助成事業として県内はもとより全国へ向けても普及を目指してきた。スポーツ・レクリエーション指導者養成のカリキュラム(動機つけ)として位

置つけられたこともあって、引き続き高齢者のレク式体力チェックと、幼児の運動（あそび）能力チェックを中心に普及・推進する。また、新プログラムの充実に努めるとともにハンドブックの充実に努める。

エ 新潟県少年自然の家との連携を深める。（スクールの開催）

オ （公財）新潟市開発公社、グリーン産業（株）、各種企業・団体との連携を深める。

カ 県内外のスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ関係団体との連携を推進する。

5 受諾事業の実施

日本協会、県、市町村、学校、民間等からの各種依頼については、指導者の派遣、事業受諾など多様な方法で可能な限り対応する。

6 指導者派遣事業

(1) 用具等を購入した団体等の要請に応じて、有資格者会員の協力を得ながら積極的に対応する。

また、要請団体へのサービスをねらいにホームページを活用した紹介ページの充実を図る。

(2) 指導者の資質向上をねらいに、可能な限り新たな有資格者を要請に応じて派遣する。

7 広報・広聴活動の充実

(1) 郵送費高騰の中、郵送費抑制を狙いに広報委員会報「レクにいがた」をHPにより紹介する。併せてPC環境のない方には郵送で発送する。

(2) ホームページを最大に活用し、県レク情報を全国へ発信する。（リンクを希望する団体を募集中）

8 有資格者支援事業の実施

(1) 日本協会からの資料情報等配布・提供をHPを通して行う。

(2) フォローアップセミナーを充実させ、有資格者の支援と新規有資格者の確保に努める。

9 団体の育成及び組織強化

(1) 未組織地域協会の設立支援

市町村レクリエーション協会の設立を支援し、広くレクリエーション活動の推進を図るとともに組織拡大に努力する。

(2) 県内未加盟種目団体・領域団体に加盟を働きかけ組織の拡大に努める。

(3) 「新潟県課程認定校連絡会」への支援・助成を行う。また、連絡会が主催する「学生交流集会」「研究集会」等へ助成する。

(4) 新規課程認定校獲得のため、日本協会と連携する。

(5) 県スポーツ・レクリエーション大会へ参加する団体に準備費を補助する。

10 教員免許状更新制度	7月開催	会場；上越市カルチャーセンター	定員150人
	8月開催	会場；新潟県立教育センター	定員180人
	9月開催	会場；新潟県少年自然の家	定員150人
	11月開催	会場；柏崎市市民プラザ	定員150人
	11月開催	会場；医科学センター	定員30人 生涯連携

11 新潟県新採用教員研修 会場；新潟県立教育センター（収録）

12 ニュースポーツ（新種目）の考案、用具の開発と販売

アタックファイブ（ストーン 的紙） キックベースボール（一郎君サイコロ 8面体サイコロ）

1 会 議

第1回理事会は、令和3年4月25日(日); エコスタ(事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、30回記念大会)

第2回は、令和4年3月27日(日); 未定(定例、事業計画・予算、その他)

その外、臨時理事会(必要に応じて開催)

通常総会は、5月23日(日); 江南区文化会館(事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、30回記念大会) 加盟団体事務局会議は、令和4年3月27日(日); 未定

2 事 業

	事業名	期 日	会 場	予定人数	内 容
1	第30回新潟県スポーツ・レクリエーション大会	10月16日(土) ～ 10月17日(日)	新潟市	3,000	市民参加型事業を通して、県民の健康づくりに貢献し、生涯スポーツの振興と地域レクリエーション運動の活性化に資する。
2	スポ・レクスクール	7月～12月	上越市カルチャセンター 少年自然の家 ふれ愛プラザ	30	インストラクターの養成講座を開催し、レクリエーション運動の中核となる人材の育成を図る。
3	福島県被災幼児・児童支援事業	未定	福島県 みなと・相馬 梁川中央保育園 敬香・スプーン	300	福島県の被災幼児へ運動能力チェック・運動あそびを継続的に提供し、そのデータを提供保存する。
4	ゆめ基金	6月・11月	柏崎市	150	ゆめ夢基金を活用して実施する。
5	フォローアップセミナー	コミュニケーション・ワーク 各種スポーツ・レクリエーション	新潟市 上越市 胎内市	100	現実的な課題解決のため講演会・講習会を開催し、指導者を支援する中でサイクル化を図る。
6	課程認定校交流集会	未定	未定	300	課程認定校学生が一同に会し、各学校の特色を活かしたレク活動と研修を行い交流を深める。
7	加盟団体事務局会議	3月27日(日)	新潟市	40	日本協会の各種情報を伝達するとともに、お互いの情報交換を通して連携強化を図る。
9	カップアタック・ファイブふうせんバレーベースボール	別紙資料	新潟市 上越市 胎内市	250	冬の新潟を前面に出して、日本海側初の全国大会を定着させたい。また、アタックファイブも人気種目として定着しつつある 新種目 サイロキックベースボール
10	教員免許更新講習業	7月17・18・22日 8月2・3・6日 9月18・19・20日 11月20・21・23日 12月11日	上越カルチャセンター 新潟県立教育 胎内自然の家 柏崎市民プラザ 医科学センター	600	主に県内の教員を対象に対面方式による講習会を実施する。 生涯学習協会との連携事業
11	受託事業	別紙資料	別紙	30	